



社会との真摯な
コミュニケーション

情報の迅速な公開に努めます 皆さまとのコミュニケーションを積極的に推進します

当社に対するご意見をお聴きし、
当社の企業活動をお伝えするため、お客さまや地域の皆さまとの
フェイス・トゥ・フェイスのコミュニケーション

を推進しています。 **2016年度：延べ約16万人の方々とのコミュニケーションを実施**



訪問活動



対話の会



出前授業



事業所オープンデー



地域の皆さまとの協働イベント

■原子力発電への不安や疑問にお応えするコミュニケーション活動 (玄海原子力発電所周辺地域の全戸訪問)

2017年1月18日、玄海原子力発電所3、4号機について、新たな規制基準にもとづく原子炉設置変更の許可を受領しました。

当社では、許可の内容や発電所の安全対策等に関して、フェイス・トゥ・フェイスで丁寧にご説明し、同時に、地域の皆さまの声をお聴きするため、同年2月に、佐賀県玄海町及び隣接する同県唐津市の鎮西町、肥前町、呼子町の全戸(約7,500戸)を訪問しました。

引き続き、原子力発電所の安全確保に万全を期すことはもとより、全社を挙げて丁寧なコミュニケーション活動に努めていきます。



?

この他にどのような取組みを行っているの？

詳しくはウラ面へ

情報公開の徹底

電気の供給に支障のあった事故など、お客さまや社会に影響する事象や、法令違反・企業倫理に反する行為などがあった場合は、記者発表やホームページ等を通じて、迅速・確かな情報公開に努めています。

積極的な情報発信

テレビやホームページ、フェイスブックなど、さまざまなメディアを通じて、企業活動を積極的に発信しています。

また、非常災害時には、フェイスブックで復旧作業状況を発信しており、「九州電力携帯メールサービス」では、非常災害時だけでなく突発的に発生した停電時においても、停電戸数や復旧見込み等をメール配信するなど、タイムリーに情報を発信しています。



テレビCM
(九電DNA篇)



九州電力公式Facebookで
非常災害の復旧状況を
発信しています。

公式Facebookは
こちら ▶



YouTubeの九州電力
公式チャンネルでも、
情報を発信しています!



YouTube
公式チャンネルは
こちら ▶

「九州電力
携帯メール
サービス」の
ご登録はこちら ▶



〔事故や法令違反等に関する情報公開実績〕

	2014年度	2015年度	2016年度	【主な内容】
供給支障関係	36	22	9	<ul style="list-style-type: none"> ● ヒューマンエラーによる供給支障事故 ● 新小倉発電所3号機運転停止 ● 電気料金の算定誤り
原子力関係	1	1	3	
設備トラブル	8	6	7	
その他	1	3	5	
合計	46	32	24	

わかりやすい情報発信

電力会社として初めて、情報コミュニケーションをわかりやすく改善する技術(UCD:ユニバーサルコミュニケーションデザイン)を導入し、パンフレットの作成などにおける「情報品質」の向上や「わかりやすさ」の技術習得に取り組んでいます。

その取り組みが評価され、2017年11月2日、一般社団法人ユニバーサルコミュニケーションデザイン協会(UCDA※)が主催する「UCDAアワード2017」において、実行委員会特別表彰を受賞しました。

※UCDA:「見やすい、わかりやすい、伝わりやすい」情報コミュニケーションの実現を目指して、「わかりやすさ」の基準をつくり、「わかりやすさ」の認証を行っている団体

【「情報品質」の向上】

パンフレット「教えて、エネルギー 日本のエネルギー事情」がUCDA認証を取得



パンフレットはこちらから ▶

【「わかりやすさ」の技術習得】

広報部門・営業部門の社員が、UCDを推進する人材育成のための認定資格「UCDA認定2級」資格を取得



「福岡市科学館」に企業ブースを出展

2017年10月1日に福岡市中央区六本松にオープンした「福岡市科学館」の3階に、「電気が生まれて、とどくまで」を楽しみながら学べる、企業ブースを出展しています。

手回し発電機を回して電光パネルを点灯させるコーナーのほか、VR(バーチャルリアリティ)を使って、九州一高い鉄塔(高さ195m)からの眺めなどを体験することができます。

詳しくはこちら
(福岡市科学館
ホームページ) ▶

